

□議員名：山田伸幸

1 埴生地区のレーダー基地建設について

論点	防衛省は2017年11月の説明会で「地元の理解が得られれば調査に着手する」と答えているが、先日の説明会では市民の理解が得られたと考えているか。
回答	総務部長＝一定の理解は得られたと思うが、住民の不安感も強いものがあった。

論点	住民説明会では安全の確保について、防衛省は「防府北基地で24時間監視し、何かあれば駆けつけるようになっている」このように説明したが、住民はハッキリと「今時、攻撃するのにこのこやってくることはない、ミサイルで攻撃されるのではないのか」このように不安の声を上げている。住民の不安に藤田市長はどのように答えるのか。
回答	藤田市長＝説明会では市民から不安の声などを聞いた。市民の不安の声は防衛省に説明責任を果たして貰う。市としても住民と同じレベルで説明してもらおうように働きかけていく。

2 地域通貨について

論点	かつて本市でも地域通貨をほんの少し実施していたがその後どうなったのか。
回答	経済部長＝取扱事業者が増えず、効果が見られず打ち切りとした。

3 地方卸売市場について

論点	取扱高を増やしていくために大手小売業者に対して、地元の青果市場を通すようにトップセールスとして藤田市長自ら求めていくことが必要ではないか。社長人事についても市職員が卸売り会社の社長を続けることは異常であるので、早期に解決が必要ではないのか。
回答	藤田市長＝中央青果については色々な課題がある。一つ一つ課題を取り除いていく。職員が社長をしており、望ましいことではないが彼一人が関わっているものではない。色々な検討している。JAも出資者として努力していただいている。取扱高を増やしていく努力もしているが表には出ていないかもしれないが、早急に表に出せるようにしていきたい。

論点	卸売会社が莫大な赤字決算を出し、取扱高が大きく落ち込んでいるのは明白であり、今更経営分析もない。いかにして売上げを回復させるかではないのか。
回答	経済部長=取扱高を増やすことをどうやっていくか、この問題に取り組みつつも、合わせて経営分析をして、業務改善についても必要である。

論点	地方卸売市場には多くの中小業者やそれを取り巻く市民の台所がある。市場を存続させ守るのか。
回答	藤田市長=市場には多くの業者が関わっている、良い形ですすめたい。企業には厳しい経営課題もある。簡単には前に進まない。中央青果の業務改善がいいことだが、改善には色々な形がある。

※一般質問(代表質問)における論点について、わかりやすくまとめる。

文字は12ポイントで統一し、ひとり3枚以内とする。

1つの論点と回答につき、論点は2行程度、回答は4行程度とする。